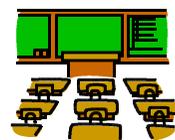


# 東和便り



第13号 学び合いの授業づくり②号

2015.6.16 東和中学校

## 1年生も学び合いました！教師も学び合いました！ 中学校における「学び合いの授業づくり」公開授業(1年家庭科)・協議会

6月15日(月)、「学び合いの授業づくりの実践的研究」の第1回目の公開授業・研究協議会に続いて、1年生(家庭科 1年1組)でも公開授業・研究協議会を実施しました。

授業は、男女混合4人グループで組織された班が9つあり、それぞれの班で、聴き合う関係も作られていました。

グループの中では、「ねえ、ここどうするの?」というささやきや、つぶやきに対してグループのメンバーがさりげなく教える場面も多く見られました。

また、「先生、先生」と教師に教えてもらおうとする声に対して教師が、「自分たちで考えて」と返すことで、学び合いが始まるグループもあり、参観した教員も子ども達の学び合う姿を見て、学ぶことができました。  
(学校長 東方美喜夫)



一斉授業(個別学習)



協同的学びの風景



学び合いの場面



自分の考えを書く



学びの共同体スーパーバイザーの馬場宏明先生から教えてもらいました。

### 「協同的な学びのルール」

- 全員がより確かな力をつけるために4人構成のグループ学習を入れる。
- グループになったら私語はしない。
- 机はしっかりくっつけて隙間をつくらない(机の隙間は心の隙間)。
- 最初、一人で考えることがもともと力がつく。
- しかし、分からない時はグループの人に「ここどうするの?」と訊くことができる。
- 訊かれたら相談に乗ること。話す時は、声のトーンを下げる。
- 立ち歩かない。自分のグループで話し合い、他のグループの人とは話さない。
- ただし、グループ内で分からなかったら、許可を得て、誰かが代表になって、他のグループに聞きに行ってもよい。聞いた話は、グループのみんなに伝える。
- 訊かれていないのに教えることは、その子の学びの邪魔をすることになるから、絶対しない。訊かれて初めて応えるようにする。
- やろうとしない子には「どうしたの?」「やらない?」と声かけをする。

※生徒の皆さんへ、「協同的な学びのルール」を守りながら、学び合いに協力しましょう!